

### 「3 家にいるときに大地震が起こったら」

- 学習のねらい：1. 自宅で、どのような危険が起こるかを理解する。  
2. 状況ごとの適切な危険回避の方法を理解する。  
3. 避難場所や避難時に注意すべきことを理解する。

(指導上のポイント)

- ◆児童が危険と考えた理由についても発表させる。
  - ◆絵の中で考えられる危険の他に、自宅の外で起こる危険として、ブロック塀の崩壊・転倒などが考えられる。
  - ◆各自の家で、どのような危険が発生するかを考えさせる。
  - ◆家での身を守る方法について考えさせる。
- 例) 机の下に隠れる。  
風呂場の扉を開ける。
- ◆津波のおそれのある場合や津波警報が発表され浸水被害の危険がある場合は高台へ、土砂災害等の危険がある場合は、あらかじめ危険箇所を知っておき、危険箇所から離れた場所へ避難することを指導する。

#### 《参考》

- 屋内で考えられる危険の回避方法
- 【ガラスの破損】破損箇所から離れる。靴を履く。
- 【家具の転倒・落下】家具の近くから離れ、机の下に隠れるか、何もない本などで頭を守る。
- 【ドアの歪み】閉じ込められないようドアを開ける。
- 【台所での出火】揺れがおさまってから火を消す。
- 【風呂場での転倒】滑ったり破片でけがをしたりしやすいので、慌てて行動しない。

3 家にいるときに  
大地震が起こったら

(1) 家の中で危険なこと  
家の中で地震が起こったら、どんな危険なことが起こるでしょうか?  
下の絵と写真を見て考えてみましょう。

照明器具の落下、割れた窓ガラスの破片の飛散、壁の部材の剥離、収納物の落下、冷蔵庫やタンスの転倒、調理器具からの出火、風呂の扉が開かなくなる、家具の転倒、階段からの落下 等

【地震による被害】

「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所に。

7

(次年度以降の展開例)

- ・ 自宅での安全対策について、家族と話し合わせる。
- ・ 指定されている避難所まで歩く。
- ・ 防災啓発車による地震体験や住宅耐震実験などの体験型防災学習の際に、復習する。などが考えられる。

関連学習：ワークシート②  
「部屋を安全にしよう」

(2) 家にいるときに大地震が起こったら

どうしたら身を守ることができるでしょうか？下の絵を見て考えたことを書いてみましょう。

場所	予想される危険	身の守り方
	冷蔵庫の転倒	冷蔵庫から離れる。
	本棚の転倒	本棚から離れる。
	風呂の扉が開かなくなる	風呂の扉を開ける。
ほかに、どんな場所が考えられますか。書いてみましょう。		
寝室	タンスの転倒	枕や布団で頭を守る。
居間	テレビの転倒	テレビから離れる。
階段	階段からの転落	手すりにつかまる。

【なます博士からのしつもん】

①ゆれがおさまったら、あなたの家では、どこに逃げることになっていますか。

答え ○○小学校

②避難するときに何を持っていきますか。

答え 水、乾パン、ビスケット、缶詰、懐中電灯、タオル、トイレットペーパー、下着 等

関連学習：ワークシート③  
「非常用持ち出し品をチェックしよう」

(指導上のポイント)

- ◆電気・ガス・水道が使えない場合、普段から準備しておけるものは何かを発表させる。
- ◆普段から準備することの大切さ、家族で話しあっておくことの必要性について指導する。

(指導上のポイント)

- ◆地震発生時の初期対応として、「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」場所を見つけ出して身を寄せ、自分で自分の身を守ることを指導する。
- ◆地震がおさまった後、安全なところへ避難する場面があることを、下記具体例を挙げて説明する。  
例)津波が来る。家が壊れる。火事が広がる。余震が続く。電気・ガス・水道等のライフラインが使えない。など
- ◆各地域の避難場所を各市町防災担当部署などで確認しておく。また、地域によっては、地震と風水害で避難場所が異なっている場合がある。  
※参照：県防災対策部 HP 「避難所・防災マップ」  
[http://www.bosaimie.jp/resource/1495426761000/X\\_MIE\\_ne000](http://www.bosaimie.jp/resource/1495426761000/X_MIE_ne000)
- ◆身の安全を確認できた場合は、できるだけ早く学校へ連絡するか、学校からの安全確認の連絡を待つよう指導する。

(確認)

普段、何気なく過ごしている家の中でさまざまな危険があることに気づき、適切な回避行動を取れば、けがを防ぎ、避難できることを理解できたか。

【発展問題】

- 地震による被害を防ぐために、普段からどんなことをしておいた方がいいでしょうか。  
(回答例) 真剣に防災訓練を行う。避難場所等を家族で話し合う。身の回りを片付ける。など